

グローバルプロダクツユニット

インベストメントバンキング

トランザクション

Global Products Unit

多様化するお客さまのニーズに対し、各分野における高い専門性の発揮と、国内外・グループ一体でのサポートにより、社会の潮流に応じた最適なソリューションを提供するプロフェッショナル集団を目指します。



グローバルプロダクツ
ユニット長
今井 誠司

基本方針

当ユニットは、インベストメントバンキング分野とトランザクションバンキング分野で構成されており、幅広いセグメントのお客さまに対しソリューションを提供しています。

お客さまや社会の抱える課題の解決に向けて、最適なプロダクツを提供することで、カンパニーや〈みずほ〉全体の戦略を支えつつ、金融機関としての社会的責務を果たしていきます。

また、お客さまや投資家のニーズに応えるべく、グループ横断で高

度な専門性を発揮し、〈みずほ〉全体の安定的な収益力を高めています。

加えて、固定概念に捉われない経営資源配分やデジタルイノベーションを通じ、効率化や新たなソリューション開発にも取り組むことで、生産性の向上と中長期的なビジネス機会の拡大を図っていきます。

取り巻く環境と課題認識

新型コロナウイルスの影響もあり、グローバル経済の不確実性は増大し、お客さまを取り巻く環境も急速に変化しています。そのような変化の大きな環境下、当ユニットはお客さまの多様化するニーズに寄り添うとともに、高度な専門性を駆使して最適なソリューションを機敏に提供し続けることが重要であると考えています。

具体的には、プロダクツに対する知見を活かしたリスクテイクによる資金供給や、お客さまのサプライチェーンの見直しを踏まえたトレードファイナンスの提供、資金供給を通じたサステナブルビジネスの推進等を通じて、〈みずほ〉の戦略をプロダクツ面から支え、社会的責務を果たしていきます。

重点戦略

■ 銀行・信託・証券・グループ会社をまたぐ有機的なソリューションの提供

お客さまの企業価値向上のバリューチェーンを最大限サポートするために、グループ一体でソリューションを提供していきます。

例えば事業承継や事業再編、バランスシート見直し等、環境変化

や社会の行動様式の変化に基づくお客さまの経営・成長戦略に対し、グループ横断で最適なソリューションを提供するために、保有するプロダクツ機能の強化・拡大に取り組んでいきます。

関連するSDGs



■ グローバル運営体制の高度化とプロダクツ専門性の向上

お客さまのグローバル運営が進むなか、〈みずほ〉のソリューション提供についても国内外の垣根を超えてグローバルベースでの高度化を目指します。

特に資金管理・決済等のトランザクションや、プロジェクトファイ

関連するSDGs



ナンス等の分野を中心に、プロダクツ・地域等のさまざまな軸での連携を高め、お客さまをサポートしていきます。

また、各プロダクツ分野のプロフェッショナル人材の戦略的育成により、専門性強化にも努めていきます。

■ 新事業領域の拡大

多様化・複雑化するお客さまのニーズに対応し、課題解決をサポートしていくためには、〈みずほ〉も既存のプロダクツラインアップにとどまらないソリューションを生み出し、提供していく必要があります。

関連するSDGs



プロダクツに関する専門性や、デジタルテクノロジーの活用、および他社との協働により新たなソリューションの提供を目指す事で、時代の潮流を捉えた新たなビジネス領域の拡大にも努めていきます。

■ インvestmentバンキング分野の主要実績

	2019年度実績
シンジケートローン ^{※1}	1位
日本公募債 ^{※2}	1位
総合ABS主幹事 ^{※3}	1位

※1. 金額ベース、ブックランナーベース

※2. 引受金額ベース（除く自行債）

※3. 金額ベース、Asset Backed Security（資産担保証券）

■ トランザクション分野の主要実績

	2019年度実績
トレードファイナンス ^{※4}	Best trade finance bank in East Asia & the Pacific
カストディ	カストディサーベイ1位（9年連続） ^{※5} サブカストディサーベイ1位（14年連続） ^{※5}

※4. 業界専門誌であるGlobal Trade Review誌が選定する「Leaders in Trade」

※5. 有価証券投資の際に、証券の保管、管理を行う業務

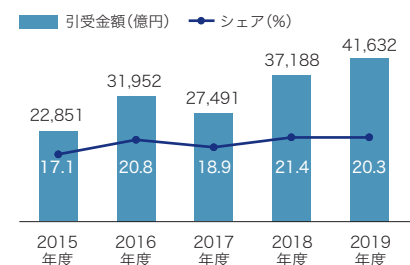
グローバルカストディアン誌によるカストディ銀行調査ランキング（日本市場）

TOPICS 国内公募社債マーケットで2年連続トップシェアを獲得

2019年度、国内公募社債の発行総額が過去最高レベルとなった環境下、みずほ証券は一般事業債にて2年連続でマーケットシェア1位を獲得しました。また、マーケットのニーズが高まる劣後債等のプロダクツについても着意を持って取り組んできました。

加えて、国内SDGs債でもマーケットシェア1位を獲得しており、社会の持続的な発展に向けた金融機関として貢献すべき取り組みについても、積極的に推進しています。

■ 国内公募債総合



（出所）みずほ証券HP、みずほ証券2019年度決算資料より

TOPICS 「Best trade finance bank in East Asia & the Pacific」を4年連続で受賞

2019年度、〈みずほ〉はトレードファイナンスの分野において、業界専門誌であるGlobal Trade Review誌が選定する「Leaders in Trade」の「Best trade finance bank in East Asia & the Pacific」を受賞しました。

高度な専門性を駆使した商品開発やサービスの提供、各国の有力企業との案件組成等の取り組みが高く評価され、4年連続での受賞となりました。

今後もグローバルに展開するお客さまの経営・財務戦略の支援を高度化していきます。

